

わが国のH I V・エイズの現状

わが国のエイズ対策は、平成11年（1999年）、感染症予防法に基づき策定された「エイズ予防指針」に沿って講じられてきた。同指針については、エイズの発生動向の変化等を踏まえて、抜本的な見直しを行い、本年4月から施行したところ。

今後は、新たな「エイズ予防指針」に基づき、国と地方の役割分担のもと、人権を尊重しつつ、普及啓発及び教育、検査・相談体制の充実、医療提供体制の再構築などの施策に取り組むこととしている。

1 新規H I V感染者・エイズ患者報告数（厚生労働省エイズ動向委員会報告）

平成16年	H I V780件、エイズ385件、あわせて1,165件で、それまでの過去最高を記録
平成17年	H I V832件、エイズ367件、あわせて1,199件で、前年を超え過去最高を更新
平成18年	第2四半期及び第3四半期で、それぞれ四半期ごとでは過去1番目（H I V・エイズあわせて354件）と2番目（H I V・エイズあわせて340件）の報告数を記録。 第1四半期からの第3四半期までの累計数は、速報値で、H I V679件、エイズ305件、あわせて984件で、前々年、前年に引き続き過去最高を記録する見込み。

2 最近の発生動向の特徴

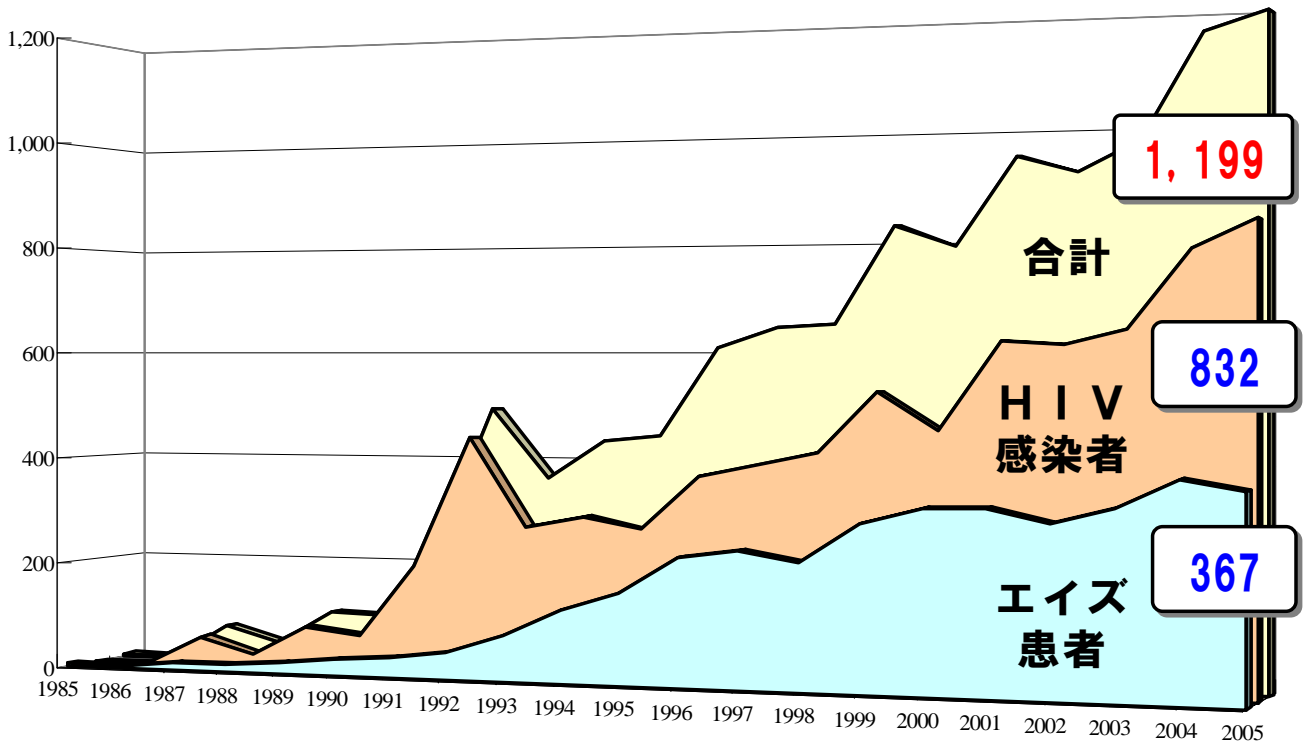
- ・性的接触による感染が9割以上。
- ・新規報告全体のうちエイズ患者が占める割合が3割以上。
- ・年齢別では、新規H I V感染者報告数のうち、20代～30代が占める割合が7割以上。また、新規エイズ患者報告数のうち、30代以上が占める割合が約9割。
- ・感染経路別では、新規H I V感染者報告数のうち、同性間性的接触が6割以上で、異性間性的接触の約2.5倍を占めるが、新規エイズ患者報告数では、同性間と異性間がほぼ同じ割合。

3 保健所等におけるH I V抗体検査（エイズ検査）受検者数の推移

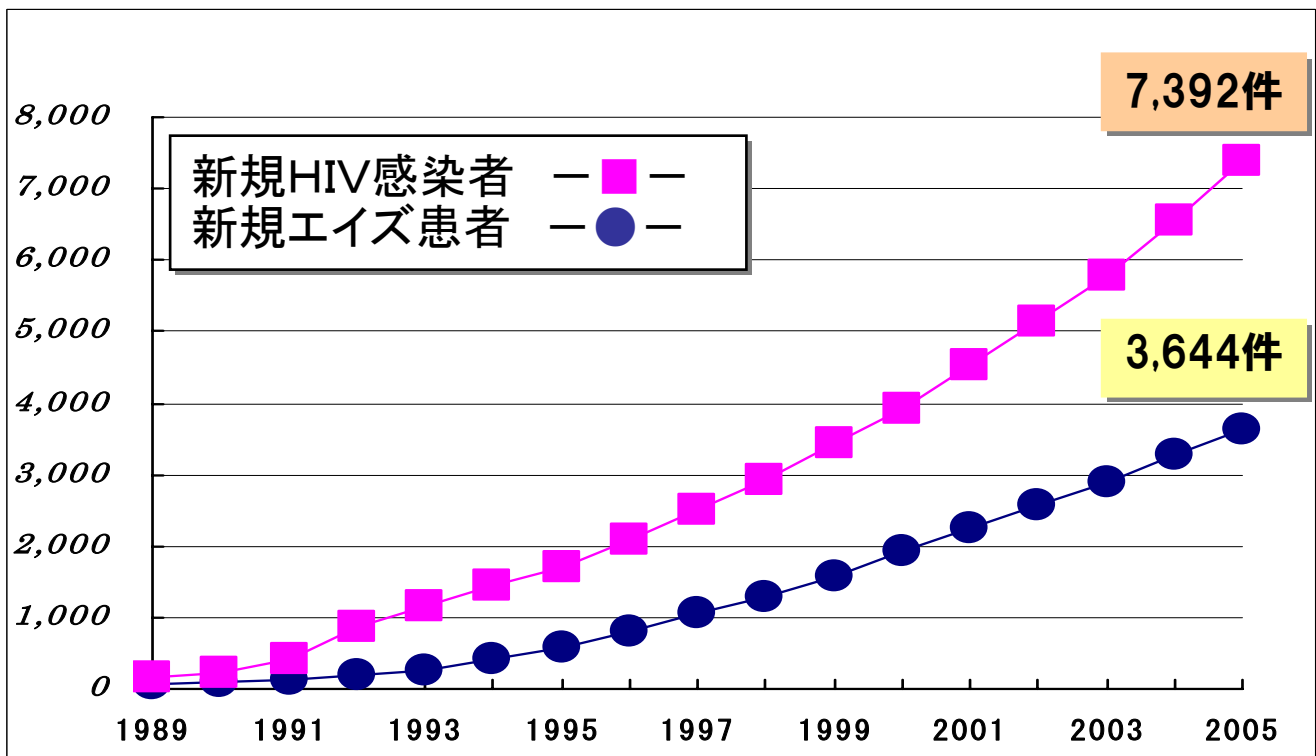
平成16年	89,004件
平成17年	100,287件
平成18年	

第3四半期までの速報値で79,119件（前年同時期は70,500件）で、前々年、前年に引き続き過去最高を記録する見込み。

HIV感染者・エイズ患者報告数の年次推移

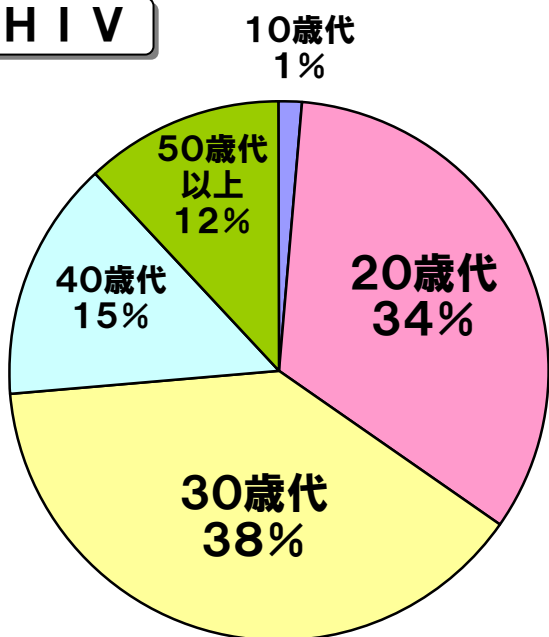


HIV感染者・エイズ患者報告数の年次推移(累計)

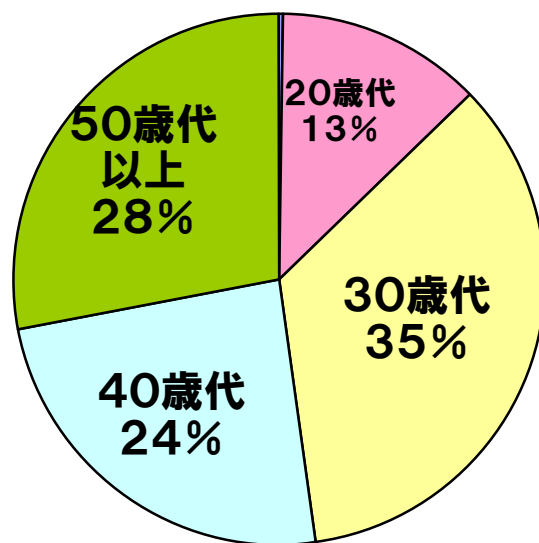


新規HIV感染者・エイズ患者 年代別内訳(平成17年)

HIV

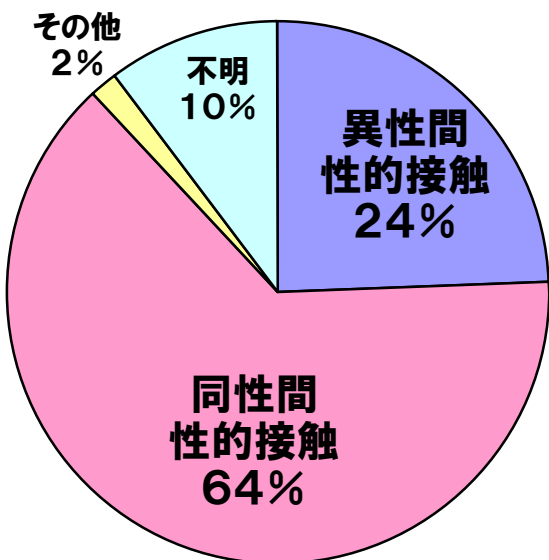


エイズ



新規HIV感染者・エイズ患者 感染経路別内訳(平成17年)

HIV



エイズ

